

SONY

マリンパック

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

MPK-PHA

Sony Corporation © 2003 Printed in Japan

必ずお読みください

- 実際に水中で撮影する前に、水深1mくらいのところで、デジタルスチルカメラが正常に作動するか、またマリンパックに水漏れがないかを確認してください。
- 万一、マリンパックに水漏れが発生した場合あわてず身体に影響がないように、浮上時の減圧時間を守り、周囲の状況に注意しながら浮上してください。
- 万ーマリンパックの不具合により水漏れ事故を起こした場合、内部機材（デジタルスチルカメラ、バッテリーなど）の損害、記録内容、および撮影に要した諸費用などの補償はご容赦ください。
- マリンパックおよび内部機器に対するソニー水中機材用損害保険をご用意しております。案内書をお読みのうえ、ご加入をおすすめします。

主な特長

- 本機はソニーのデジタルスチルカメラDSC-P8/P10専用のマリンパックです。
- お手持ちのデジタルスチルカメラに本機を取りつけると、雨天時や海面（水中では水深40m以内）また雪や雨などの悪天候での撮影ができます。

○リングのはずれやはさみ込み、ゴミの付着などがあると、水中で水漏れがおきます。
必ず確認した後に、ご使用ください。
詳しくは、○リングメンテナンスマニュアルをお読みください。

安全のために

ソニー製品は、安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災などによる人身事故が起きるおそれがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 安全のための注意事項を守る
- 故障したら使わずに、テクニカルインフォメーションセンターに修理を依頼する

- ① 電源を切る
 ② テクニカルインフォメーションセンターに修理を依頼する

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。



行為を禁止する記号
禁止



行為を指示する記号
注意



下記の注意事項を守らないと、事故により死亡や大けがの原因となります。

潜水中の使用は周囲の状況を把握し、安全に充分注意を払う
注意を怠ると、潜水事故の原因となります。

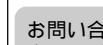
万一、マリンパックに水漏れが発生した場合あわてず身体に影響がないように、浮上時の減圧時間を守り、周囲の状況に注意しながら浮上してください。



下記の注意事項を守らないと、けがをすることがあります。



衝撃を与えない
ガラス部分が割れて、けがの原因となることがあります。



お問い合わせ窓口のご案内
テクニカルインフォメーションセンター
ご使用上での不明な点や技術的なご質問のご相談、および修理受付の窓口です。

製品の品質には万全を期しておりますが、万一不具合が生じた場合は、「テクニカルインフォメーションセンター」までご連絡ください。

修理に関するご案内をさせていただきます。また修理が必要な場合は、お客様のお宅まで指定宅配便にて集荷にうかがいますので、まずはお電話ください。

電話： 0564-62-4979
受付時間：月～金曜日 午前9時～午後5時

（ただし、年末、年始、祝日を除く）

お電話される際に、本機の型名（MPK-PHA）をお知らせください。より迅速な対応が可能になります。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

<http://www.sony.co.jp/>



この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

主な仕様

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受けとりください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックをこの取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証書は国内に限られています
付属している保証書は、国内仕様です。外国で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。耐水圧試験および耐水圧試験に関わる修理には日数がかかります。またご要望により耐水圧試験をおこなう場合は有料となります。当社ではマリンパックの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。修理費用はお客様のご負担となります。

マリンパックにサンオイルなどが付着したときは、必ずぬるま湯でよく洗い流してください。付着したまま放置していると、マリンパック表面の変色やダメージ（表面のヒビなど）の原因となります。

万ーマリンパック内部に水滴などが確認された場合は、ただちにご使用を中止してください。
デジタルスチルカメラが濡れた場合は、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。修理費用はお客様のご負担となります。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。
型名：MPK-PHA
故障の状態：できるだけ詳しく
お買い上げ日

マリンパック前部のガラス面は、くもり止めの効果がある構造になっています。ただし、デジタルカメラの取り付けは湿気の少ない室内などでおこなってください。

準備

デジタルスチルカメラの準備

デジタルスチルカメラの取り付けは、湿気の少ない室内などでおこなってください。高温多湿な場所でのマリンパックの開閉は、マリンパック前部のくもりの原因となります。

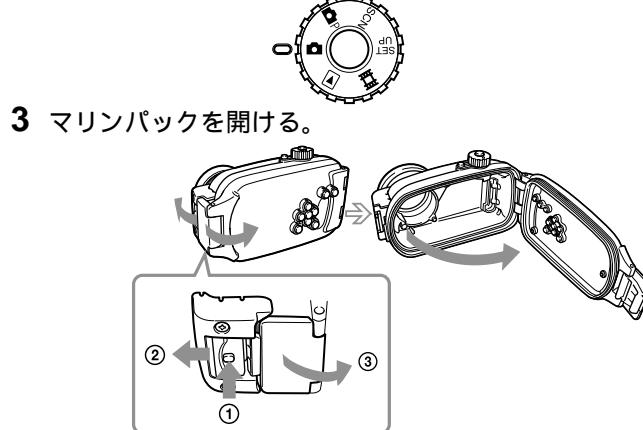
デジタルスチルカメラの取扱説明書もあわせてご覧ください。

- 1 デジタルスチルカメラのハンドストラップをはずす。
- 2 パッテリーを取り付ける。
充分に充電してあるパッテリーを取り付けてください。
- 3 “メモリースティック”を入れる。
- 4 デジタルスチルカメラの電源を入れる。
- 5 デジタルスチルカメラの液晶画面をONにする。
- 6 デジタルスチルカメラの各設定をオートにする。
- 7 デジタルスチルカメラのAFイルミネーターをOFFにする。
AFイルミネーターは使用できません。

デジタルスチルカメラのレンズや液晶画面が汚れていないことを確認してください。

デジタルスチルカメラをマリンパックに取り付ける

- 1 デジタルスチルカメラの電源を切る。
- 2 デジタルスチルカメラのモードダイヤルを「■」にする。



ロック解除ボタンを押しながら①、バックルを矢印②の方向にスライドさせて、③の方向にはずし、マリンパックのボディを開く。

ご注意

スペーサーは、マリンパックを保管する際に必要ですので、紛失しないようにご注意ください。

- 4 マリンパックの準備をする。

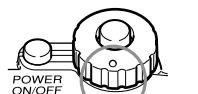
別冊のOリングメンテナンスマニュアルを必ずお読みください。
Oリングの取り扱いについての重要な説明が書かれています。

- ① 付属のOリングリムーバーを使って、Oリングを取りはずす。
- ② Oリングにグリスを塗る。
Oリング、溝および本体との接触面の砂やゴミなどをきれいに取り除き、Oリングに薄く均一にグリスを塗ります。
- ③ 防滴パッキンに砂やゴミが付着していないかを確認する。

ご注意

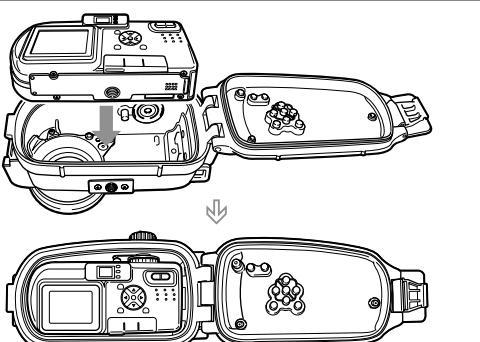
- ・防滴パッキンをはずしたり、グリスを塗ったりしないでください。
- ・砂やゴミが付着したままふたを閉めると、本体にキズをつけたり、浸水の原因となることがあります。

- 5 マリンパックのモードダイヤルの位置をイラストのようにセットにする。



- 6 マリンパックに取り付ける。

デジタルスチルカメラを出し入れするときは、必ずPOWERスイッチを「OFF」にしてください。「ON」のままでデジタルスチルカメラのレンズを傷つけることがあります。



デジタルスチルカメラが正しく入っているか確認してください。

- 7 ボディーを閉じて、バックルを締める。

ボディーをしっかりと押さえ、バックルがカチッとロックされるまで押してください。



ボディーを閉じる時のバックルの位置



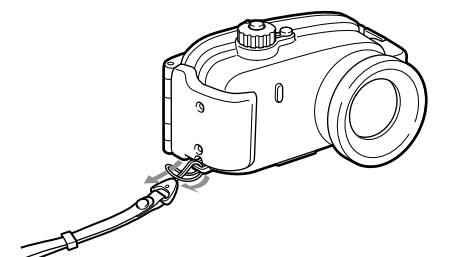
②の状態でバックルを締めると引っかかり、ロックできません。

ご注意

マリンパックのボディを閉じるとき、Oリングの表面とマリンパックの溝に、ゴミや砂、毛髪などがついていないことを確かめてください。
上記のような異物を挟み込むと、浸水の原因となることがあります。

ハンドストラップを取り付ける

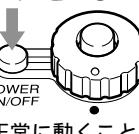
- ・ご使用前に付属のハンドストラップを取り付けることをおすすめします。



マリンパックを使う

撮影する

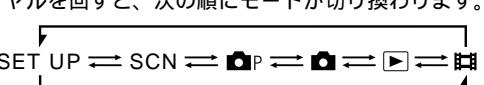
- 1 POWERスイッチを「ON」にする。



モードダイヤルが正常に動くことを確認してください。



モードダイヤルを回すと、次の順にモードが切り換わります。



各モードについては液晶画面で確認してください。

- 2 モードダイヤルを希望のモードに合わせ、シャッター
- ボタンを押す。

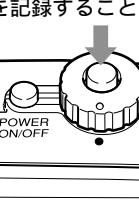
液晶画面を見ながら撮影できます。

静止画を撮影するとき…デジタルスチルカメラのモードダイヤルを「■」または「■P」にする。

動画を撮影するとき…デジタルスチルカメラのモードダイヤルを「■」にする。

場面に合わせて撮影をするとき…デジタルスチルカメラのモードダイヤルを「SCN」にし、コントロールボタンで設定する。

動画撮影時、音声を記録することはできません。



詳しくは、お使いのデジタルスチルカメラの取扱説明書をご覧ください。

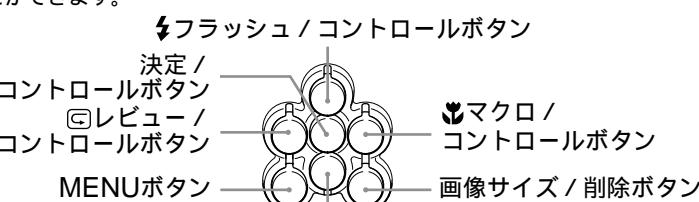
ご注意

デジタルスチルカメラを収納した状態で、モードダイヤルをむやみに回さないでください。故障の原因になります。

水中では水の屈折率が大きいため、陸上より約1/4距離が近くに見えます。したがって水中撮影でフォーカスプリセットを使用する場合、設定した距離と被写体までの実際の距離は異なります。

さまざまな機能を使う／設定をする

マリンパックに収納したデジタルスチルカメラのさまざまな機能を使うことができます。



ズームする

ズームボタンを押します。
W側を押し続けると、
徐々に広角(Wide)に
なります。
T側を押し続けると、
徐々に望遠(Telephoto)
になります。

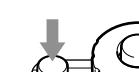
ご注意

- ・ファインダーによる撮影はできません。
- ・撮影一時停止状態が3分以上続くと自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消耗を防ぐためです。再度撮影するには、POWERスイッチを「ON」にしてください。

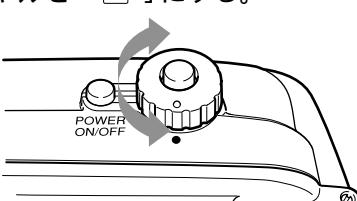
コントロールボタンを使って画像を見る

デジタルスチルカメラのコントロールボタンを使って、液晶画面で撮影した画像を見るすることができます。このとき音声は聞こえません。

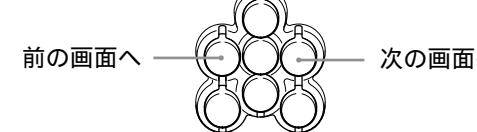
- 1 POWERスイッチを「ON」にする。



- 2 モードダイヤルを「□」にする。



- 3 コントロールボタンを操作して、再生したい画像を選ぶ。

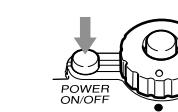


詳しくは、お使いのデジタルスチルカメラの取扱説明書をご覧ください。

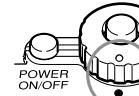
デジタルスチルカメラを取りはずす

- 1 POWERスイッチを「OFF」にする。

デジタルスチルカメラを出し入れするときは、必ずPOWERスイッチを「OFF」にしてください。「ON」のままでデジタルスチルカメラのレンズを傷つけることがあります。



- 2 マリンパックのモードダイヤルの位置をイラストのようにセットする。



- 3 ロック解除ボタンを押しながらバックルをはずし、マリンパックのボディを開く。

- 4 デジタルスチルカメラを取り出す。

長時間ご使用になったときは、デジタルスチルカメラが熱くなります。電源を切ってからしばらく放置したあとに、デジタルスチルカメラを取り出してください。

デジタルスチルカメラを取り出すとき、落とさないようにご注意ください。

ご注意

マリンパックを開けるときは、マリンパックを水道水または真水で洗い、柔らかい布で水滴をふき取ってください。このとき、体や毛髪、ウエットスーツの袖口などからの水滴がデジタルスチルカメラにかかるないようにご注意ください。

ダイビングの前に

水中撮影をする前に、水深1m程度のところで正常に作動するか、また水漏れがないか確認してから潜水を始めてください。

デジタルスチルカメラは、ダイビングの前にあらかじめマリンパックに取り付け、船上や海岸などのマリンパックの開閉は、できるだけ避けてください。デジタルスチルカメラを取り付けるときは、できるだけ湿気の少ないところで行ってください。

ご使用の前に、マリンパックの前後のボディの間に異物のはさみ、ゴミがないかを確認してください。
水中で撮影すると、被写体の色が青みがかって見えることがあります。このような場合は、色の補正に別売りのカラー・フィルターキットVF-MP5K(別売り)をお使いになることをおすすめします。

撮影に適した時間

太陽が真正にある午前10時から午後2時頃までが、撮影に最も適した時間です。

太陽の光が届きにくい場所での撮影や夜間の撮影には、水中ビデオライトHVL-ML20M(別売り)をお使いください。

各部の名前

